

伊深 まちづくり協議会 だより

第 43 号

・活動グループの動き	1
・地域のトピックス	2
・参加者募集	3
・“しゃべり場”のようす	4
・名所・旧跡紹介「諏訪神社のじょりぬぎ場」	4

伊深まち協 HP アドレス <http://ibukamachi.com>

各活動 グループ の動き

協議会内で個別テーマに取り組んでいる活動グループの最近の動きを紹介します。

里山活動グループ /

12.18 (日)、関也秋葉神社前の桜並木せん定を行いました

今年度は関也の秋葉神社前の並木を関也自治会の皆さんの協力を得て実施しました。

ここの並木は大洞川右岸の約 400m の間に約 40 本のソメイヨシノが植わっていますが比較的若い木が多く、「天狗巢」の発生はさほどではありませんでした。ただ、道路の上に伸びた枝が通行の妨げになっている木もあったため、今回地元からの要望もあり、実施したものです。

参加したのは関也自治会・協議会委員からの 16 人で 3 つの班に分かれ、せん定・薬剤塗布・片づけの作業を交代しながら実施しました。また、今回初めての試みとして、高いところや川側に伸びた枝など危険性の高い枝は高所作業車で行ったため、参加者にとって無理のない作業となりました。

今回は地元から大勢の「ヒト」が出ていただけのため、協議会のもつ「モノ」「カネ」「ノウハウ」と合わせて理想的な取組事例となりました。同グループでは「伊深の桜並木は牛牧だけじゃない。近い将来他の並木も合わせて“伊深の桜並木”として全体的にアピールできるようにしたい」と意気込んでいます。



新年あけましておめでとうございます
本年もよろしくお願ひ申し上げます

平成 29 年 元旦



伊深まちづくり協議会 委員一同

小学校稲作体験支援グループ /

12.13 (火)、伊深小 5 年生が五平餅づくりに取り組みました

伊深小 5 年生が 9 月に刈り取ったコシヒカリの収穫祭として「五平餅づくり」に取り組みました。「れんげ会」の皆さんの協力で行ったもので、まず、グループの篠田代表から「五平餅」が岐阜県東濃地方を中心に食べられてきた郷土食であることなどの説明を聞いたあと、熱々に炊かれた 5 升のコシヒカ리를すりこぎで半練りし、団子状に丸めてホットプレートの上で焼きました。児童たちは待ちきれないようすで何度もひっくり返したあと、こげめのついたところで特製のタレをつけて完成。通常のものとしんじゆ入りの 2 種類をパックにつめて全校児童と先生たちに配りました。

このあとさっそく試食した児童たちは、「買ったものは食べたことがあるが作ったのは初めて」「表面がパリパリしておいしかった」「しんじゆ入ったのは初めて食べた」「家でも作れそうなので作ってみたい」などと感想を述べていました。



地域の

トピックス

地域内での最近のトピックスを紹介します

12.10 (土) ほくぶ保育園で生活発表会が行われました

ほくぶ保育園で生活発表会が行われ、歌や合奏、劇などで園児たちの日ごろの練習の成果が発揮されました。

前半は各組の歌が披露されたあと、後半はカラフルな衣装をまとった劇の発表があり、最後は全園児による歌「ゆうげのあさ・ヤッター！サンタがやってくる」がホールに響きわたり、盛り上がる発表会となりました。



12.14 (水) ほくぶ保育園 ことし最後の自然遊び

— 寒さもへいちゃら —

ほくぶ保育園園児たちがことし最後の自然遊びに出かけ、澄みきってひんやりした寒気のなか、元気に遊ぶ子どもたちの声が谷間にこだましていました。

今回は、道具を使ったごっこ遊びや木登りをしたあと、段ボール紙をお尻に置いて土手を滑り下りる遊びが人気で、何度も土手を滑り下りる姿が見られました。給食のあとも多くの園児たちが奥の山まで探検に出かけ、服の汚れも気にせず思いっきり冬の外遊びを楽しんでいました。



◆ 参加者募集!! ◆

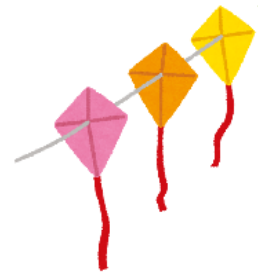
『外遊びプロジェクト ～ 伊深の野山を遊びつくそう ～』


第2弾

“親子でたこつくり + たこあげ”

伊深には外遊びに適した野原、川、山などのフィールドがたくさんあります。この環境を生かし、思いっきり遊んでもらうための『凧あげ』を昨年に引き続き計画しました。親子で作って、思いっきり高く凧をあげてみませんか？

ことしは「連だこ」を作る予定やよ!!

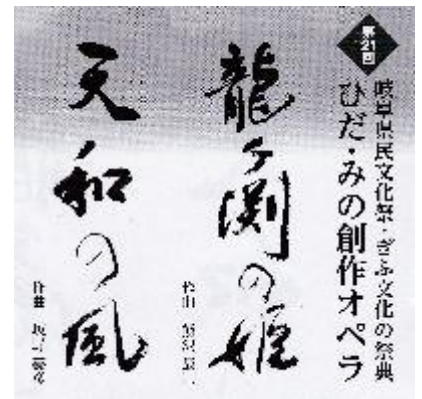


- 主催：伊深まちづくり協議会 【雨天決行】
- とき：1月28日(土) 9:00～12:00 (受付開始 8:45)
- ところ：伊深交流センター
- 参加資格：小学生程度の親子どなたでも 【定員 20組】
- 参加料：材料1セットあたり ¥300
- 持ち物：必要な材料・道具は用意します。
- 服装：寒くない服装をご用意ください。
- 参加申込期間：1月4日(水)～25日(水)まで伊深交流センター(☎29-1395)へ。
- その他：凧あげのあと、「ぜんざい」のふるまいがあります。

ひだ・みの創作オペラ「龍ヶ淵の姫」「天和の風」

どちらも伊深の民話・史実にもとづいた演目です。この機会にぜひお出かけください。

- 主催：(公財)岐阜県教育文化財団
- とき：2月11日(土)・12日(日) 13:15 開場 14:00 開演
- ところ：美濃加茂市文化会館
- 入場料金：一般 2,000 円・高校生以下 1,000 円 全席自由
- チケット取扱所：伊深連絡所ほか



旧伊深村役場庁舎の「登録有形文化財」への登録が実現!!

去る7月15日に答申されていた旧伊深村役場庁舎の登録有形文化財(建造物)への登録が、平成28年11月29日の官報に告示され、登録が正式に実現しました。

「正面左右に切妻破風を見せ、洋風を基調に和風意匠や技法を取り入れた点が特徴」と評価され、登録基準の1「国土の歴史的景観に寄与しているもの」に該当するとして全国204件のうちの一つとして登録されたものです。

これを機に、地元としてもこの建物にふさわしい活用に向けた積極的な議論が望まれるところです。



「伊深の未来を考えるしゃべり場」のようす

「伊深の未来を考えるしゃべり場」の第4回が12.21(水)に開かれ、これまで、「こうであってほしい」と描いた将来像の実現に向けて、一歩踏み込んだ話し合いが行われました。テーマは「わたしたちにできること」。合言葉は『ほしい未来は自分たちでつくる!』でした。

第4回 「わたしたちにできること」

(12.21 水)

参加者 25 名



これまでの議論をもとに「こうであつたらいいね」を5つの分野に分け、参加者がそれぞれ一番関心のあるチームに入って、より踏み込んだ話し合いを行いました。チームごとのテーマは左下のとおりでした。

出されたアイデアを更にグループ分けし、短期・中期・長期で取り組むべきテーマとして細分化しました。最後にその中で最も実現させたい3つのテーマをそれぞれに発表しました。

チームごとのテーマ

- 「自然の恵み活かして暮らす」
- 「住んで都(みや)～伊深ライフ」
- 「あんしん・安全・助け合い」
- 「笑顔いっぱいどの場」
- 「子育てしやすさナンバー1」

今回は、「実現可能性」や「優先度」を意識しながら出されたアイデアが多かったため、これまで以上に現実味が高く、終わってみれば、これが、最優先で取り組むべき課題に近い形となり、伊深の明るい将来が少し見えてきたような気がしました。

伊深の名所・旧跡 紹介シリーズ

第20回 諏訪神社のじょりぬぎ場 (上切)

南岡にある諏訪神社の西 300m ほどのところに、土地改良された田んぼの一部を小さく囲んだ一画があり、ここが「諏訪神社のじょりぬぎ場」として、昭和 53 年に発刊された美濃加茂市史民俗編でも写真付きで紹介されているところにあたります。昔は清水が湧き出ていたそうですが今は埋められています。



標柱あり

文章では「むかし諏訪の神さまが、はじめてここへ来られたとき、この清水に馬が踏み外して落馬されたという。そのため諏訪神社の氏子は、井戸を掘っても水が出ないという」(佐野一彦「伊深の伝説」)と解説されています。その真偽のほどはともかく、「じょりぬぎ場」としては第14回で紹介した「星宮神社」とともに2か所が今に至るまで語り継がれてきています。



伊深まちづくり協議会だより 第43号

2017. 1. 1発行

発行責任者 伊深まちづくり協議会 会長 小林 喜典

事務局

美濃加茂市伊深町 909 伊深交流センター内

電話 0574-29-1395 FAX 0574-29-0001

※ ご意見・お問い合わせもこちらまで